



芸振HP

# 芸振

## GEISHIN No.154

NPO法人 大分県芸術文化振興会議 通巻第154号 2025年9月発行

### 目次

芸術の未来	1	大分県民芸術文化祭	5	お知らせ	7
総会報告	1	コラム あの頃の芸振	6	事務局だより	8
令和7年度事業計画	2	芸振ダイアリー	7		

### 県美協60周年記念特別展を通してみえたこと



本年6月の大分県美術協会総会で会長の職に就くことになりました。大役で不安もありますが、県美展の共催者・後援者、県美展を毎年、熱心にご観覧くださる多くの県民の方々のご厚情を励みといたしまして、県美協・県美展のさらなる充実・発展を目指して参りたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。



大分県美術協会60周年記念特別展

さて、県美協60周年を記念して昨年度開催した「60周年記念特別展」は、私たちに多くの示唆を与えてくれ、これまでにない貴重な行事として思い出に残っています。

特別展は、県美協日洋彫工部会・書道部会・写真部会の名誉会員・役員199名の作品をあいうえお順に取り混ぜて展示し、同一会場で開催するという初めての試みでした。表現の異なる分野の作品が並んだ展示会場は、変化と見応えに富んだ魅力満載の展覧会会場となりました。来館者からも「それぞれの作品が互いに響き合っている」などのご感想をいただきました。県美展に対する新しい視点を得た気がしました。

今回の展覧会の準備作業では、3部会の関係者が同じ目標を持ち、協力し合い、一つの事業を成し遂げていくという姿も見られました。3部会の交流という今までにない光景でした。ここに県美協がさらに一つになったという印象が強く脳裏に焼き付きました。

本特別展に向け何度も開催した実行委員会、綿密な計画・実施により得た大きな成果と達成感。この経験をもとにまた県美協は頑張っていきます。今後ともよろしくお願ひいたします。

(大分県美術協会 会長 池部俊之)

### 令和7年度総会報告

令和7年6月17日14時からホルトホールにおいて、令和7年度の通常総会が開催されました。総会には会員総数232名（団体会員136名、個人会員96名）のうち158名が出席（委任状を含む）。藤間

次登理事長の挨拶に続き、来賓として大分県企画振興部の工藤哲史部長に挨拶を頂戴した後、議長に大分県高等学校文化連盟の井ノ上佐和子氏、議事録署名人に大分県俳句連盟の吉原白天氏、おおいたオペラカンパニーの荒金眞紀氏を選任しました。

第1号議案令和6年度事業報告、第2号議案令和6年度決算報告及び監査報告、第3号議案令和7年度事業計画、第4号議案令和7年度予算について、事務局長から説明が行われました。特に事業計画では、芸振の主要事業ある芸振補助金のほか、県の新規事業である伝統文化を次世代に継承するための事業について、文化キャラバンを拡充し積極的に取り組む旨の説明がありました。

また、第5号議案で芸振創立60周年記念事業として大分合同新聞への企画広告の掲載についてその概要の説明と会員への協力をお願いしました。

議案説明の後、それぞれ質疑、採択を行い、いずれも満場一致で議決されました。

## ◆令和6年度芸振の決算について

令和6年度の決算では、収入合計が14,363,447円、支出合計は17,527,452円で、単年度決算では差引3,164,005円のマイナスとなりました。これは令和5年度において職員2名が退職し補充が出来なかったことから業務的には厳しい状況となりましたが、令和6年度は新たに職員を採用したことから人件費支出が増大したこと、文化キャラバン事業で県の負担金が減少したために、学校訪問件数をなんとか維持したいとの思いから芸振予算の支出を増やしたこと、大規模な周年事業等を支援するために未来基金事業をスタートしたこと等によるもので、その結果、次期へ繰越正味財産額は3,311,706円となりました。

## ◆令和7年度芸振の予算について

令和7年度予算では、「文化を語る夕べ」の会費を増額したこと、県の新規事業である伝統文化体験プログラムによる文化キャラバン事業の拡充により県の負担金の増加が見込ること等により、令和6年度決算額に比べて収入の増加を見込んでおり、合計は15,349,000円としています。

一方、支出では文化キャラバン事業への芸振予算からの持ち出しがなくなること、未来基金事業の実施予定がないこと等により令和6年度決算額より支出総額は減少し、16,320,000円を見込んでいます。この結果単年度の収支は対前年比で幾分持ち直すことが予想されますが、厳しい予算であることに変わりはなく、引き続き費用の削減に努めていくこととしています。

## 令和7年度事業計画

令和7年度の事業として、芸振の主要行事である「文化キャラバン事業」、「芸振補助金」、「海外研修派遣事業」を中心に、「文化を語る夕べ」のほか、芸振創立60周年記念事業として、大分合同新聞への企画広告の掲載を予定しています。

## ◆文化キャラバン事業

各会員団体のご協力のもと令和6年度は芸振加盟団体が計45校6施設で演奏や人形劇等の公演をしていただき、延べ8,106名の県民や子供たちが芸術や文化に触れることができました。本年度はすでに6月から活動が行われており、計画では県下各地4施設45校（令和7年6月末時点）でキャラバン事業（うち20校は伝統文化体験プログラム）を実施する予定です。



令和7年度通常総会

## 令和7年度 文化キャラバン実施計画

## 大分県芸術文化振興会議主催

No.	市町村	会 場 名	派 遣 団 体 名	備考
1	臼杵市	臼杵市観光交流プラザ（臼杵市観光協会）	おおいたの里唄を唄い継ぐ会	公演
2	杵築市	杵築市立図書館	武蔵野音楽大学同窓会 大分県支部	公演
3	宇佐市	院内文化交流ホール（石橋の郷コンサート実行委員会）	室内樂おおいた～grand～	公演
4	由布市	はさま未来館 DENKENホール（由布市教育委員会）	情景ヲ奏デル	公演

## 芸術文化を通した青少年健全育成事業実行委員会による実施（芸振共催）

No.	市町村	会 場 名	派 遣 団 体 名	備考
1	別府市	大平山小学校	Primavera	公演
2		亀川小学校	情景ヲ奏デル	公演
3		緑丘小学校	ピアノ演奏グループ「O'未来」	公演
4		南立石小学校	合唱団“藍”	公演
5	中津市	深水小学校	室内樂おおいた～grand～	公演
6		真坂小学校	武蔵野音楽大学同窓会 大分県支部	公演
7		本耶馬渓中学校	大分県庁職員吹奏楽団	公演
8	日田市	いつま小学校	大分県人形劇サークル協議会	公演
9	佐伯市	上野小学校	グループUNO	公演
10		木立小学校	大分県人形劇サークル協議会	公演
11		佐伯東小学校	大分県庁職員吹奏楽団	公演
12		渡町台小学校	大分二期会	公演
13		本匠中学校	男声合唱団 豊声会	公演
14	臼杵市	臼杵南小学校	大分マンドリンオーケストラ	公演
15	津久見市	青江小学校	管楽器プレイヤーズ大分	公演
16	竹田市	祖峰小学校	大分県児童文化研究会	公演
17		竹田小学校（グランツたけた）	PATHMA	公演
18	杵築市	大内小学校	おおいた洋舞連盟	公演
19	宇佐市	天津小学校	情景ヲ奏デル	公演
20		長洲小学校	PATHMA	公演
21		横山小学校	ピアノ演奏グループ「O'未来」	公演
22		四日市北小学校	グループUNO	公演
23	由布市	挟間中学校	おおいたオペラカンパニー	公演
24	国東市	国見中学校（みんなんかん）	大分二期会	公演
25	姫島村	姫島小学校	アンサンブル「みどりのそよ風」	公演

## 伝統文化体験プログラム事業による実施（芸振共催）

令和7年6月30日現在

No.	市町村	会 場 名	派 遣 団 体 名	体験プログラム
1	大分市	金池小学校	大分県能楽連盟・能を楽しむ会	○
2		大分豊府中学校	大分県能楽連盟・能を楽しむ会	
3		佐賀関中学校	一般社団法人表千家同門会大分県支部	○
4		吉野中学校	一般社団法人表千家同門会大分県支部	○
5		大分支援学校	NPO法人 大分県書写書道指導者連合会	○
6	別府市	上人小学校	大分県民謡連盟	
7	日田市	小楠小学校	大分県現代箏曲研究会	○
8		桂林小学校	大分県能楽連盟・能を楽しむ会	
9		光岡小学校	長唄 松樹會	○
10	佐伯市	東渓中学校	大分県現代箏曲研究会	○
11		明治小学校	大分県三曲協会	
12		米水津中学校	大分県能楽連盟・能を楽しむ会	
13	杵築市	杵築小学校	大分県民謡連盟	
14	宇佐市	院内中部小学校（院内文化交流ホール）	大分県三曲協会	○
15		佐田小学校	大分県三曲協会	
16		津房小学校	大分県長唄連盟	
17		柳ヶ浦小学校	大分県三曲協会	○
18	由布市	石城小学校	大分県民謡連盟	
19		東庄内小学校	大分県現代箏曲研究会	
20	国東市	国東中学校	大分県能楽連盟・能を楽しむ会	



大分県人形劇サークル協議会（佐伯市立木立小学校）



情景ヲ奏デル（はま未来館）

## ◆芸振補助事業

この事業は、芸振の会員団体が企画して行う公演、展示等に対しその費用の一部を補助する制度です。令和6年度は計42事業に対し、総額1,700千円の補助金を交付しました。

令和7年度の事業計画では次の45事業に交付する予定です。

### 令和7年度 芸振補助事業 実施計画

計 45事業

団体名	会場名	事業名	実施日(開始日・期間)
1 大分県歌人クラブ	J:COMホールトホール大分	第73回大分県短歌大会	5月24日 1日
2 歌帖社	ホテル豊泉荘（別府市）	第73回歌帖社全国短歌大会	3月14日 1日
3 NPO法人 大分県書写書道指導者連合会	クラサス武道スポーツセンター	第8回全国中小中学生書道チャンピオン大会決勝大会	1月11日 1日
4 大分自由美術	大分県立美術館	第55回大分自由美術展	9月 2日 6日
5 驥の会	大分県立美術館	第9回驥の書展	3月10日 6日
6 九州創光写真協会	大分県立美術館	第47回九州創光写真展	3月12日 6日
7 行動大分作家協会	大分県立美術館	第51回行動大分作家展	6月10日 6日
8 国画会（絵画部）新大分作家展	大分県立美術館 3階展示室A	第5回国画会 絵画部 新大分作家展	11月18日 6日
9 新潮流の会	大分県立美術館	新潮流25'展	11月25日 6日
10 一般社団法人二紀会大分支部	大分県立美術館	大分二紀展 2025	9月 9日 7日
11 別府市日本画協会	別府市美術館	第17回別府市日本画展	未定 7日
12 別府市美術協会	別府市美術館	第68回別府市美術展	8月19日 6日
13 大分県三曲協会	コンパルホール	第64回大分県三曲協会 定期演奏会 「箏・三絃・尺八による邦楽演奏会」	11月17日 1日
14 大分県吹奏楽連盟	中津文化会館 大ホール	第25回豊の国プラスフェスティバル ～社会人バンドの響演～	2月22日 1日
15 大分県民謡研究会 萬謡會	大分市平和市民公園能楽堂	五感に響け 新しい波 萬謡會 みんようフェスタ2025! (第56回総合おさらい会：おおいた“民謡の宝船”)	9月22日 1日
16 大分二期会	iichiko音の泉ホール	2026大分二期会ニューイヤーコンサート ～新会員を迎えて	1月18日 1日
17 大分交響楽団	iichikoグランシアタ	大分交響楽団 第48回定期演奏会	10月26日 1日
18 グループUNO	iichiko音の泉ホール	第53回演奏会	11月16日 1日
19 都山流大分県支部	大分市平和市民公園能楽堂	第50回都山流尺八演奏会	7月 6日 1日
20 大分県庁職員吹奏楽団	iichikoグランシアタ	大分県庁職員吹奏楽団 定期演奏会	2月21日 1日
21 大分市民合唱団 ウイステリア・コール	iichiko音の泉ホール	大分市民合唱団ウイステリア・コール 第69回定期演奏会	7月 6日 1日
22 大分大学マンドリンクラブ	iichiko音の泉ホール	定期演奏会	12月21日 1日
23 大分マンドリンオーケストラ	iichiko音の泉ホール	大分マンドリンオーケストラ 第37回定期演奏会	10月12日 1日
24 歌曲の会	iichiko音の泉ホール	歌曲の会 第28回演奏会 ～紫陽花に新しい風が吹く…Sing !～	6月20日 1日
25 秀絃会	別府市コミュニティーセンター	地歌・箏曲ライブvol.9	10月 5日 1日
26 白と黒	iichiko音の泉ホール	白と黒 冬のコンサートPart.XXVIII (28回)	10月26日 1日
27 長唄 松樹會	コンパルホール 集会室	「長唄のいろは Vol.4」	11月23日 1日
28 おおいた演劇の会	トヨタカローラ大分 祝祭の広場	第16回朗読劇「蝉なきやまつ～大分の空襲より～」	8月10日 1日
29 大分県子ども劇場連絡会	佐伯市・別府市・大分市(2回)	第4回「はじめてのぶたい」 ～乳幼児向け舞台鑑賞体験事業～	10月 4日 4日
30 大分県児童文化研究会	由布市はま未来館	第6回大分県児童文化祭	11月29日 1日
31 大分県人形劇サークル協議会	臼杵市野津中央公民館	第61回大分県人形劇フェスティバル	2月11日 1日
32 劇団不二野座	ONE SPACE	バリアフリー 朗読会	3月中旬 1日
33 一般社団法人 表千家同門会大分県支部	コンパルホール	表千家学校茶道合同茶会	7月20日 1日
34 華道家元池坊大分支部	iichikoアトリウムプラザ	華道家元池坊大分支部 いけばな展	10月25日 2日
35 大分県文化団体連絡協議会	大分県立美術館 3階	2025 第56回大分平和美術展	9月 2日 6日

芸術文化活動成果発表 35事業

36 大分県俳句連盟		「俳連年鑑・一人二句集」募集・発行	9月～令和8年2月	年1回発行
37 大分県番傘川柳連合会	県内一円	川柳機関誌「高崎山」発行	4月～令和8年3月	毎月発行

刊行物の発行 2事業

団体名	会場名	事業名	実施日(開始日・期間)
38 白日会大分支部	コンパルホール	令和7年度白日会支部研修会	12月~令和8年1月 1日
39 大分県合唱連盟	コンパルホール 多目的ホール	課題曲講習会	5月30日 2日
40 ピアノ演奏グループ「未来」大分県支部	iichiko音の泉ホール	ピアノ演奏グループ「O'未来」ステージ講習会	7月16日 1日
41 大分県中学校文化連盟	コンパルホール	大分県中学校文化連盟 合唱講習会	9月27日 2日
<b>文化活動研修 4事業</b>			
42 白杵市文化連盟	白杵市民会館	第67回白杵市秋の文化祭	10月25日 2日
43 玖珠町文化振興会	くすまちメルサンホール	第56回くすまち文化祭	11月 2日 1日
44 佐伯文化振興会	さいき城山桜ホール	第54回佐伯芸術文化祭	11月21日 3日
45 津久見市文化協会	津久見市民会館	第55回津久見市文化祭	11月 8日 2日
<b>地域文化団体活動促進 4事業</b>			

## ◆芸振創立60周年記念事業

芸振は昭和39年（1964年）12月26日に発足致しました。令和6年は創立60周年にあたることから、令和6年度、令和7年度に創立60周年記念事業を行うこととしています。令和6年度は団体会員の広報を支援できるようホームページのリニューアルに取り組みましたが、本年度は12月ごろに大分合同新聞への企画広告の掲載を予定しています。皆様のご協力をお願いいたします。

## ◆文化を語る夕べ

毎年12月に会員をはじめ、芸振の活動をご支援いただいている賛助会員、行政等の方々をお招きして「文化を語る夕べ」を開催しています。

本年は12月19日（金）にレンブラントホテル大分での開催を予定しています。活動分野の異なる文化団体や行政の方々との交流を通じ、情報交換を行う機会になればと思います。11月にご案内をいたしますのでお気軽にご参加ください。



令和6年度の文化を語る夕べ

## ◆海外派遣研修

諸外国の芸術文化の実情を調査、研究し、芸術文化活動に反映させ国際的視野に立った見識と、資質の向上を図るために、若手アーティストを対象に外国での研修渡航費等の一部を支援するものです。選考の結果、令和7年度は洋画家の川野美華さんをオーストリア、ドイツに派遣予定です。

## 大分県民芸術文化祭開催

第27回大分県民芸術文化祭が10月から2か月間にわたり開催されます。今年のポスターには大分県立芸術文化短期大学の上野礼琴（みこと）さんの作品が選ばれました。

開幕行事はバレエ「ジゼル」（10月5日（日）iichikoグランシアタ）、閉幕行事は平和市民公園能楽堂開館35周年「能楽の祭典」（11月30日（日）平和市民公園能楽堂）です。

開催期間中、県美展のほかジャンル別行事、人材育成行事、地域文化行事等30の共催行事や県下各地での参加行事が予定されています。身近な地域での鑑賞をぜひお願いします。

なお、参加行事（12月までに開催される行事を対象とした文化祭実行委員会の後援行事）については引き続き11月30日まで受け付けていますので、ぜひご応募ください。



大分県民芸術文化祭HP

## コラム あのころの芸振

2024年12月に芸振は設立60周年を迎えました。これを機会にこれまでに発行した機関紙「芸振」のなかから、「あのころの芸振」と題して懐かしい記事をご紹介したいと思います。

まず、第1弾は昭和45年8月の創刊特集号のなかから、元大分合同新聞社文化部長宮瀬香多士さんの寄稿「芸振会議の出来たころ」をご紹介します。

## 芸振会議の出来たごろ

あれは昭和三十九年十一月ごろだったと思う。当時、県教委社会教育課の文化係長をしていた進恒夫さんが社のデスクを訪れてきた。

「大分県でも芸術祭をやつて、いまバラバラにやつて  
いる各文化団体の行事をまとめたらと思うんです  
が・・・。しかし、このためには推進母体がなくてはい  
けない。近く芸術文化団体の代表者に集まつてもらい組  
織をつくりたいと思つています」

相をつくりたいと思っています」

当時、各文化団体がかかえている共通の悩みは会場難に加えて、各団体・ジャンル間の連携がとれないということだった。だから、こんな意味では連絡組織の出来ることだつた。だから、こんな意味では連絡組織の出来ることだつた。だから、こんな意味では連絡組織の出来ることだつた。だから、こんな意味では連絡組織の出来ることだつた。長・溝辺有巣さんなどは、会の前日、私に「あすは文化団体連絡会議みたいなものを提案したいと思うんですけど」ともられたほどだつた。もつとも連絡会議をつくらるための会だつたので、この提案はされなかつたが……。

こんなことで第一回の県芸術文化振興会議が開かれたのが昭和三十九年十二月二十六日。ここで四十年度から

名称は仮称で、正式に県芸術文化振興会議（略称＝県芸振会議）という名称に決まったのは第二回、四十年二月十一日に開かれた会合だったと思う。

この会合ではまた初めて県芸振会議の性格議論もなされた。しかし、このときは何か問題があるごとに招集して意見を出し合う懇話会形式でよいという意見と文化団体の横の連絡機関として組織化すべきなどの意見にわかれて結論は出ず、連絡協議機関的なものにしようといふ一応の結論が出たのは翌々月の四月二十七日の会合だった。

こうして取り組んだ第一回芸術祭（別府国観会館で開会式）は幸い成功のうちに終わったが、県芸振会議としては芸術祭を開くのが精いっぱい、なかなか会自体の活動に目を向ける暇がなかった。しかし、そんな中でも機会あるごとに『芸振会議のあり方』については話されていた。会の日常活動をどうするか、会費を取って経済的基盤を持った方がいいのではないかといったことなどである。話し合われ、取り上げられていたことは、今年の総会で決まったことと全く同じである。こんな意味では県芸振会議が自身の足取りを示し始めたのは、ことしからだと言つてもよからう。六年間貯えられ、内包されたエネルギーがどう開花していくか？これからを期待したい。

(元大分合同新聞社文化部長 宮瀬香多士)

## 芸振ダイアリー

### □3月18日 令和6年度第6回理事会

年度末を迎え、令和6年度の事業進捗状況と予算執行の状況を理事に報告しました。また、令和7年度の事業計画とおよその予算概要を報告し、理事の意見を伺いました。そのほか、令和7年度海外派遣研修事業に対する応募状況を報告し、書類選考を行いました。

### □4月4日 海外派遣研修事業選考委員会

選考委員となった理事長、副理事長、事務局長が最終選考に残った応募者に対し面接による選考を行いました。その結果、大分県美術協会から推薦いただいた川野美華さんを令和8年2月から1か月、オーストリア、ドイツに派遣することに決定しました。

### □5月21日 3役会議

第1回理事会に向けて、創立60周年記念事業や議案の確認等を行いました。

### □5月23日 監査

清原代表監事、永見監事による令和6年度決算に伴う監査が行われました。  
会計や事業執行等、適正に執行されている旨の監査報告をいただきました。

### □5月29日 令和7年度 第1回理事会

新しい年度となって最初の理事会を開催し、総会に向けての議案等について協議し、総会議案としてとりまとめました。

### □6月17日 令和7年度通常総会

ホルトホールにおいて通常総会を開催しました。

### □7月10日 九州沖縄文化団体連絡協議会

7月10日から11日の2日間、福岡市において九州沖縄文化団体連絡協議会が行われました。この会議は、芸振のように九州沖縄各県で活動する文化団体が各県の課題等を持ち寄り、意見交換をするものです。

今年の会議では、各県文化協会の財政健全化や行政の関与状況、芸術文化活動に対するクラウドファンディングの導入状況等、6議題について協議が行われました。

## お知らせ

### ◆新会員紹介

令和7年1月以降7月31日までに入会いただいた新会員は次のとおりです。なお、令和6年12月までに入会いただいた会員は機関紙芸振No.153号で紹介しています。

### ○団体会員

年 度	団 体 名	代表者
令和6 年度	劇団吉祥じゅん&ワルキューレ	吉祥じゅん
令和7 年度	大分中央合唱団	高橋 美和
	表現塾	川谷 和也
	おおいたサクソフォンアンサンブル	坂本さくら

### ○個人会員

年 度	氏 名
令和7 年度	馬野 正基
	中尾 春照
	榎若勧寿郎
	花柳笙広波

### ◆物故者

土谷 正公 先生（令和7年4月24日ご逝去 大分県音楽協会永久名誉会長・元芸振副理事長）

# 事務局だより

## ◆芸振ホームページでの広報について

芸振では会員の主催する事業等について、広報媒体として芸振ホームページを活用できるよう、昨年度ホームページのリニューアルを行いました。行事内容やチラシを提供いただければ芸振のホームページへの掲載も可能ですので事務局あてお知らせください。

## ◆会費の納入について

芸振の活動は皆様の会費により成り立っています。まだ、未納の会員は早急に納入いただくようお願いします。お問い合わせは事務局まで。

## ◆芸振事務局の営業日について

事務局は月曜日から金曜日の9:00から17:00を営業時間としておりますが、第2、第4月曜日はiichiko総合文化センターが全館休館となりますので、その場合は前の週の土曜日に営業することとしています。職員の勤務時間もシフト制としておりますのでお問い合わせの時間に担当職員の不在等があり、ご不便をおかけしますがご協力をお願いします。

## 編 | 集 | 後 | 記 |

機関紙154号の発行に際し、ほかの職員に編集後記を書いてくれないかと頼んでみたが、「後記は編集担当が書くものでしょ！」と体よく断られてしまった。もっともな話だ。

2月に発行した153号は全ページピンクの2色刷りだったが、今回は半分だけ2色刷りと何だかしょぼくなつた。今まで年1回の発行だったのに「2回発行できたらいいね」という職員の口をついた思いが実現できたわけだが、予算を横目で見ながらの工夫もしなければなるまいということだ。

機関紙は9月発行を目指しているが、文化年鑑の編集作業も会員の皆さんからいただいた原稿と取っ組みながら現在進行中だ。

文化年鑑も機関紙にあわせて発行するぞ!!と意気込んでいる年鑑編集担当者の残暑の一日が今日も過ぎようとしている。

## NPO法人 大分県芸術文化振興会議

〒870-0029 大分市高砂町2-33 iichiko総合文化センターB1F  
TEL : 097-536-0522 FAX : 097-536-6188 E-mail : info@geishin.jp  
URL : <https://oita.geishin.jp/>